

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便り

お知らせ

＜営業推進部＞



7/1から広島市ファミリープールが一時の入園者を最大1500人とし、8月末まで62日間のオープンとなりました。人の命を預かる責任の重い業務の為、来場者の行動を注意深く見て事故の予兆を素早く発見し未然に防ぐため、利用者へ声掛けを行うようスタッフ全員に周知徹底し、来園者の安全を確保します。

ます。

＜広島市中小企業会館＞

7月に入り全国安全週間を迎えました。そして今年のスローガンは「安全は急がず焦らず怠らず」となっています。当館においては2016年7月以降7年間無事故を継続していますが、このスローガンを念頭において作業していくと共に、安全の愛言葉「5SとABCの実践」により、今後とも気を抜くことなく引き続き『安全作業』に取り組んでまいります。

＜広島市留学生会館＞（国際交流・国際協力の拠点）

この2年間は、新型コロナ蔓延防止等重点措置のために、企画したイベントの多くを実施出来ませんでした。今年度はコロナ感染症の対策により、これまでのところ予定通りに留学生相互交流イベントや、市民の皆さんと留学生の交流イベントを実施することが出来ました。6月には、留学生の浴衣着付け体験、留学生による市民の皆様へのふるさと紹介（今回は台湾）等を実施しました。また7月の七夕コンサートでは琴の演奏会や音大生の演奏会も開催することが出来ました。今後も国際交流・協力の和がどんどん広がることを期待しています。

＜クレンリネス事業部＞

クレンリネス事業部では、7/20現在で通勤災害による休業が今期2件発生しています。いずれも出勤中で1件は自動車での事故、もう1件は電車から降車した後の事故です。労働災害、通勤災害、プライベートでの怪我など体を動かす以上リスクは付きものですが、大きな怪我になると休業を余儀なくされます。今一度、ご自身の通勤経路の特徴と勤務先での危険予知を行い、事故が起こりそうな場面を想定し、どうしたら防ぐことができるか考えてみてください。また、健康診断などで要精密検査や要治療と判定された場合も速やかに病院で検査・治療を開始し、健康に安全に勤務して頂くことが、何よりも大切なことです。

これからも暑い日が続くでしょう。既にマスクは感染対策上手放せないものとなっていますが、マスクを着用したままの作業はこの時期熱がこもってしまいます。作業中でも熱中症対策の一つとして水分補給はどんどん行ってください。

＜FM事業部＞

いよいよ本格的な夏を迎えます。今年の夏（7月～9月）の気温は、広範囲で平年より高く、全国的に暑くなるとのことです。暑い時期の作業は特に集中力が欠如しがちであることから、いつも以上に安全対策に気を配らなければなりません。FM事業部においては、今年に入り作業時の保護具（ヘルメット）未着用や高所部の一人作業による事故が続いています。また今年の6/13に発生した広島国際会議場のホール天井裏で点検作業をしていた作業員が転落し死亡するという重大な事故は、皆さんの記憶にも残っていると思います。我々の仕事はひとつ間違えば人命に関わるということを肝に銘じ、基本ルールの徹底を今一度強く意識し、安全作業に取り組んでください。



<セキュリティ事業部>

7月8日に発生した、街頭演説中の安部元首相が銃で殺害された事件は、警護の際をついた一瞬の出来事であり、不審者の発見がいかに大切で、そして困難なことであるかを考えさせられる事件でした。警備員も不審者、不審物に対して敏感であることが求められる立場になりますが、いつもと異なる状況を察知するためには、日常の状態の把握が必要ですので普段から現場の状況を熟知しておくよう心掛けてください。

<東京支店>

ーブローケン・ウィンドウ理論（割れ窓理論）ー

「建物の窓が壊れているのを放置すると、誰も注意を払っていないという象徴になり、やがて他の窓もまもなく全て壊される」との考え方からこの名がある。ゴミのポイ捨てなど見逃すと住民のモラルが低下して、それがさらに環境を悪化させる。犯罪を起こしやすい環境を作り出す」こととなります。外人が驚く、街角にゴミひとつ落ちていない風景、これがニッポンの誇る姿です。ゴミや汚れや傷は小さいうちに解消しましょう。

夏真っ盛り。カンカン照りだろうが嵐になろうが清掃に休みはありません。熱中症にならないように休み休み水分補給してがんばりましょう。我らの仕事は実に誇り高さ貴いものです。最後にお願ひです。ゴミは拾って！ゴミの分別はしっかり！そのちょっとした心がけが安全で平和な社会を作ります。



<安全衛生委員会>

今年の梅雨は1951年の統計開始以来初となる6月中に明け、全国各地で35℃を超える猛暑日が梅雨明け直後から続きました。7月に入り、天候が不安定となったことで気温はやや下がりましたが、大変蒸し暑く、厳しい暑さが続いています。

梅雨が早く明けたことで今年の夏は長く、厳しい暑さが続くものと考えられますので、例年以上の熱中症対策が必要となります。バランスの良い食事や十分な睡眠を取ることで体調を整えるようにして下さい。また、熱中症対策にはのどの渇きを感じる前のこまめな水分（塩分）補給が必要となります。適切な熱中症対策を行い厳しい暑さを乗り切っていきましょう。

ご安全に！！

<磨種（ときぐさ）>

七夕が過ぎて今年も残り170余日、時の流れは一秒ずつドンドン進みます。今月初めも宮島大聖院に行き、台風4号は太平洋高気圧の張り出して北上が遅れていて晴天でも高温多湿、広電宮島口はその日午後一番で棧橋寄り移設の日だとかで鉄道ファンが多く集まり賑わっていました。いつも通り歩いて大聖院に上がり、オンコロコロセンダリマトウギ・ソワカ～オンアロリキヤ・ソワカなど書いてある字を口ずさみながら、大汗かいて今月の無事故無災害・商売繁盛を祈りました。7月は1日から7日迄全国安全週間で、そのあと広島県夏の交通安全運動ですので、ケガや事故に注意です。大聖院の坊様も干支九星も『今月の運気は良好、でも行き過ぎやり過ぎに注意、耳の痛い忠告でもシッカリやり切れば一気に評価上がるが、無理押しせぬ事』と。干支やお寺の話は相変わらずですが、有難く拝聴しました。

7月3日の中国新聞こだま欄に、周防大島の主婦77歳の田村迦葉子さんの投書を見つけ、明治の文豪・幸田露伴が『アトミヨ・ソワカ』と言って娘の幸田文さんを躑（しつけ）た話が掲載されており興味深く読みました。

ソワカとは大聖院で良く口ずさむ言葉ですが、アトミヨは後ろを見なさい・ソワカとは古代インド語で成し遂げるという意味があることを初めて知り、例えば掃除の後に振り返り『やり残しはないか、最後まで責任を持てよ』という意味だそうで、幸田露伴自身が自分に言い聞かせていたのではないかと、という解釈をされているのを読んで、家でヤリッパナシにしていると後片付けをする家内に怒られる自分にピッタリの言葉ではないかと得心しました。

いつも5SとABCの実践をお願いしている筆者にとって、5Sの最後の『躑』に相応しい愛言葉は、まさに『アトミヨ・ソワカ』ではないかと、皆さんに問う次第です。

